

74新破天荒



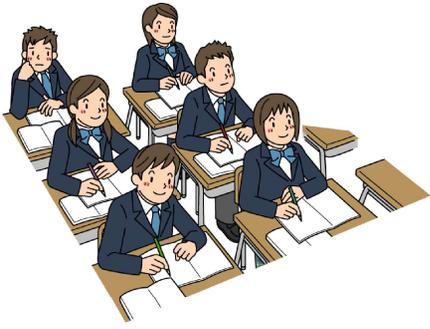
令和四年度版
創刊
第20号

一学期期末考査 真つ只中

本日は、期末考査の折り返し日です。どんな思いを持って、どんな想いを背負って、どんなことを自らに課して

今

という時間を過ごしているでしょうか。皆さんの「自分を大切にする行動」を、よい意味で期待するばかりです。



2年1組 佐野 湧貴

楽しかった 文化祭

私たちのクラスは文化祭でVRを用いたジェットコースターを作成しました。最初は何を出し物にするのか、クラスの意見がばらばらで全然まとまりませんでした。クラスで何度も話し合う中で、何度も内容が変わっていき、最後に残った二つの案を寺脇先生が一つにまとめて、この案に決まりました。

そこからも、台車や扇風機を準備するのに苦労しましたが、クラスメイトがいろんなところをお願いして、なんとか必要な数を揃えることができました。そして、安全に体験できるように試作を重ねながら、楽しんでもらえるように、何度も台車をタイミングよく動かす練習をしていきました。

当日は、生徒だけでなく、保護者の方や先生方にもたくさん来ていただけたことに驚きました。来てくれた人に「本物のジェットコースターのような」と楽しんでもらえて嬉しかったです。展示の部門で最優秀賞もとれて、大変なことはたくさんあったけれど、貴重な経験ができました。



2年2組 佐野 翔

「サザエさん」の劇をするとなったときは、役者も話し合いも決まらなくて成功するとは何一つ思えませんでした。

しかし、役者組で「おもしろさ」をモットーに考えあって、ようやく台本が完成しました。文化祭一週間前にインフルエンザにかかって不安でしたが、週明けからみんなでたくさん時間をかけて、ようやくおもしろいサザエさんが出来上がりました。

文化祭二日前に急遽決まった全員で踊るダンスも、しっかりとみんなで作り上げることができたと思います。

観客に受けるかどうか、不安のままでステージに立っていましたが、ステージからの光景はとても気持ちよかったです。どこからも笑い声が聞こえてきて、僕たちの望み通りの劇を作れたと思います。

本当に短い間で完成に持っていけたのは役者仲間を信じたことができたからです。最優秀賞こそ逃しましたが、最後のダンスも含めて僕の中ではこれまでの最高傑作だと思います。

球技大会や体育大会ではもっと団結して、今度こそ優勝を取りに行きましょう。

二組ならやればできる!!!

2年3組 文化委員

桐田煌生・中村莉子

今年の文化祭は、感染症対策の緩和により、ほとんど例年通り行われたので、どの演目も昨年と比べ盛り上がっていてとても良かったと思います。

短期間の間に決めなければいけないことが多くて大変な部分もあったけれど、クラスの人が放課後も積極的に教室に残り準備してくれたおかげで、無事文化祭当日を迎えることができました。

最後まで焦ることなくスムーズに進めることができたのは、クラス全員の協力があったから、それぞれが役割を果たしてくれたからだと思うので、今後の学校生活や次の行事に生かしていきたいです。

ステージの劇で役を演じてくれた人は、初めは恥ずかしそうにやっていた人もいましたが、リハーサルや本番ではみんなノリノリで恥ずかしがることなく演じることができていたので良かったです。

グループダンスの人たちも力いっぱい明るく踊っていたので、見ていてとても楽しかったです。

ステージで最優秀賞をとることができたのはすごく嬉しかったし、クラス、また学校全体で成功させた文化祭は最高の思い出になりました。来年の文化祭もより良いものにしていきましょう！

2年4組 射場 美雪

私は文化祭を通して、協力することで生まれる力の偉大さを知ることができました。クラスで一丸となって、一つの作品を作り上げることはとても楽しかったし、完成した時の達成感がとても大きかったです。

準備をする中で、初対面の人とも仲良くなれた気がしました。指示を出せばしっかりと動いてくれたし、何をすれば良いか積極的に聞いてくれたので、余裕

をもって準備することが出来ました。おかげでとても良い展示になったと思います。

最優秀賞が取れなかったのは少し残念でしたが、二年四組として挑んだ初めての行事としては、大成功だったと思います。

吹奏楽部としてもステージに立つことができました。前から見るとみんな楽しそうに文化委員との両立が大変だったけれどやって良かったと思います。

こんな素晴らしい文化祭になったのは、生徒会の力あってこそだと思います。来年は私たちが三年生今年よりパワーアップした文化祭にしたいなと思いました。

2年5組 吉田 愛美

私たち五組が行った展示「縁日」は大成功だったと思っています。今年の展示は去年と異なり、体験型だったので、私たちも何をすればよいのか分からず、作業に入るのが遅くなってしまいました。

しかし、展示内容を決める話し合いからとてもスムーズに進み、準備では皆部活動があったにもかかわらず、うまく両立しながら、毎日多くの子が準備に参加してくれました。

前日までバタバタでしたが、役割分担をしながら、本当に楽しく協力し合って完成できたと思います。

当日は自分たちが思っていた以上に、多くの人たちに楽しんでもらうことができ、店番側の私たちもとても楽しかったです。

最優秀賞はとれなかったものの、それに勝る最高の思い出ができました。五組だからこそできた素晴らしい思い出とチームワークを、これからの行事でも作っていきましょう。

あたりまえではない中で文化祭を行って下さった先生方、生徒会の皆さん、PTAの方々、そして一緒に準備や話し合いに参加してくださった井上先生にはとても感謝しています。

「文化祭を終えて」

井上 真梨奈

六月一五日（木）・一六日（金）に文化祭を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小して実施した文化祭でしたが、今年はその扱いが五類感染症へと移行したため、その対応が大きく緩和され、コロナ前のように二日間で行うことができました。無事に終わることができて良かったですね。

みなさんは文化祭に精一杯取り組み、楽しむことができましたか。ステージや展示の準備のため、練

習や作業を頑張っていましたね。各クラス、遅くまで残って頑張っている人の姿も多く見られました。準備中はクラスを引っ張っていた人、ステージや展示の成功のために中心となって動いてくれた人など、さまざまな人の協力があった各クラス一致団結した素晴らしいステージや展示に仕上がっていました。クラスの出し物以外にも、有志のステージや部活動のステージ・展示はどれも素敵でそれらも見ごたえのあるものでした。美味しいお菓子やお茶を提供していた部活動もありましたね。

この二日間のために大変なことも多かったと思いますが、その後にやりがいを感じられた人が多かったのではないのでしょうか。とてもいい表情でいきいきと話をしてくれるみなさんから、その楽しさが十分に伝わってきました。充実した、思い出に残る文化祭になったのではないかと思います。

さて、文化祭二日目終了後の片付けもみなさんの協力のおかげでスムーズに済みましたが、放課後に二年生のフロアを見てまわっていると落とし物や汚れている生徒には前に授業で取り上げた話ですが、ワールドカップ開幕戦の観戦後に日本人サポーターがスタジアムのゴミ拾い掃除をする姿が話題になった話をみなさんは覚えていますか。その姿が現地メディアで流れ、カターの人から感謝されて、日本人を称賛する声が多く上がりました。その話を喜んでくれる人もたくさんいましたね。そのことを忘れず、二年生全員が外見も内面も美意識が高い人になってほしいなと思います。そして、この後には期末考査がありますので、頑張って勉強にも取り組んでくださいね。



存分に自分達を出すことができた文化祭であって
くれたことと思います。
そのうえで、自分が頑張るべきことにその経験を
生かしてもらえたらと、強く願うばかりです。

七月の予定

六月二十九日(木)～七月 五日(水)

一学期期末考查

六 日(木) 午前中授業①②③④限

七 日(金) 全国総合学力検査

十 日(月) 兵庫県立大&スプリング8見学
(希望者)

(希望者)

十一日(火) 球技大会 教育相談

十七日(月) 海の日

十九日(水) 防災訓練 ワックス掛け

二十日(木) 終業式

二十四日(月)～二十八日(火)

前期補習

八月の予定

十一日(金) 山の日

十七日(木)～二十五日(金)

後期補習(希望者)

(オープンハイスクール日は除く)

二十七日(日) 全国統一模試

(希望者 校外にて)

その他、一日看護体験や工場見学等、希望者のみ
ですが、夏休みに活動予定です。

文化祭の裏で

二年続けて、文化祭当日に学校にすることができ
ませんでした。学年主任としては大変心苦しいばか
りですが、預かっている生徒のさまざまな頑張りは
お金では買えないものばかり。

皆さんがそれを感じるのには、もつと先。あるいは
それに気付くことがない人もいるかもしれません。
教師という職業は、目の前の三年間だけでなく、
その先に生かせるために、この三年間と向き合っ
ています。

皆さんは「今」が一番。「目の前」が一番苦しい、
苦しく感じるものです。このことは今までも言い
続けてきたことです。

ただ、皆さんがまだ見ぬ未来で振り返ったときに、
それが「自分の礎」と気付くか、苦しいことから
逃れ続けてきた結果、「苦しさ」のまま、それからも
過ぎていくのか・・・。

今私たち教師が、皆さんにとって、多くの苦言、
叱咤激励をするその「裏」を少しだけ感じ、考えて
もらうことができたらと思います。

私たちは、自分の意のままに皆さんを動かすこと
を臨んでいません。命令のまま、動かすことを望ん
でいません。是非、「言葉の裏」「目の前で起こって
いることの裏」を考える人になるために、悩んで、
心揺れて相手を思うことができる人になっていつて
くれることを望むばかりです。

文化祭の感想に多くあった「他者への感じた想い」
を大切にして下さい。

今回の皆さんの頑張りの裏で過ごしていたことを
少しだけ紹介します。学校にいても、「お金では買え
ないもの」を感じることも数多くできたと思います。
絶対に生かしてくださいね。

紀三井寺にて(十三～十八日)



相性のよい土地柄である和歌山紀三井寺なので、
生徒が競技場で活動を始めたタイミングで、競技が
始まるまでに、四日間、お寺詣りをしました。毎朝
掃除をされている関係者の方とも挨拶を交わすこと
もできました。

ただ、「こんなに階段苦しかったかなあ？」と何度
も途中で立ち止まりました。導入、女厄、男厄、還
暦に分けられた階段数を、色んな自分への戒めを思
いながら上がった一日目でした。



二日目



三日目



四日目



一日目



漲る力 活躍を信じて

女子バレーボール部 県ベスト8近畿大会出場

新人大会準優勝により、県下の数多くの強豪校が捲土重来を期して、本校に向かってきました。結果に対して、思うこと、気付いたこと、覚悟することに触れることができたと思います。
近畿大会では、自分達のステップアップのために、今持つべきテーマをしっかりと明確化して、大会に臨んでみてください。

女子陸上競技部

近畿大会6位入賞



全国高校総体近畿地区予選会において、日坂美咲さん(二組)が七種競技で6位に入賞しました。
種目の特性で全国大会には各地区3位までと、地区予選会の結果から、上位五名までに全国大会出場のチャンスがありました。七番目の記録で残念ながら入り交じった結果だと思えますが、総体とはそういうものです。

とは言え、数多く自己新記録をマークし、「悔しさ」を経験できる舞台にたどり着いたことを誇りに思い、「次こそは・・・」の想い、覚悟を持って次のチャレンジを始めましょう。

今月の ……の勧め

一月	「無駄」
五月	「諦めない」
六月	「捨てる」
七月	「チャレンジ」
一学期末	「さかのぼる」
九月	「テレビ」
十月	「大空間」
十一月	「無」
十二月	「こだわり」
二学期末	「信念」
一月	「探る」
二月	「自制する」
三月	「勇気を探す」
一年最終	
二年	
四月	「悩むこと」
四月 2	「本気でぶつかること」
五月	「この世界の片隅を大切に」
六月	「主体性」
七月	「客観性」

各場面で、先輩達からの引き継ぎがあり、その中で、今まで上級生が抱えてくれていたストレスを感じるが増えてきたと思います。

「自分は頑張っているのに」「自分達は頑張っているのに」と思うことも多くなっているのでは。

少しだけ、自分の想いを外して見て、物事を、自分自身の行動を側面から眺める時間を作ってみませんか？

今までならば、普通に捉えていた課題が、主観の強い捉え方で受け止められなくなっているものを、一旦下ろすことができるのでは。

人生は色んなものを背負いながら歩くものです。何度か言いますが、「目の前」は常に一生懸命で、「苦」を伴うものです。

一方で、「不平不満の大きさ」や「諦めの早さ」に危機感を感じずにはいられません。危機感を「煽る」ものではありませんが、二年生になってから皆さんに対して、私が描く未来予想図を今月の最後に記しておきます。

「逆夢」を期待しながらも、「正夢」に近い現状とどう向き合うかを考える毎日です。

未来予想図

七十四回生の皆さん、卒業おめでとう。そして、申し訳ない。君たちの持つポテンシャルに対して、それを磨き育てる力を伝えられなくて、身につけさせてやれなかったことを。

ただ、君たちのポテンシャルはこんなものではないことを。どうか早いタイミングで気づき、自分の未来に対して、あるべき道を進んでください。

令和七年二月二十八日

これが、令和五年七月段階で皆さんに対する、私の未来予想図です。

難しいことではなく、ごく当たり前の積み重ねをできる高校生であってください。

自分との勝負は、投げないでほしいものです。